

アジア思想基礎研究 (前期)

2 単位 2 年 (前期), 3 年 (前期)

有馬 卓也・教授 / 人間文化学科

【授業目的】アジア思想基礎研究は、主に思想・文学関係の基礎文献を講読しながら、中国の文化を考えていこうとするものである。漢文を読むための基礎知識を伝えることももちろんだが、メインは文化理解の方に置いている。本年度は中国の不思議小説を集める『太平広記』の中から、巻 131 報応三十・巻 133 報応三十二を読む予定。

【授業概要】小説からさぐる思想・文化

【キーワード】志怪小説、伝奇小説、中国文化

【履修上の注意】演習の形態をとるので、全員が担当することを前提とする。したがって、最高 25 名を限度としたい。最初に出席者の担当を決め、発表当日までに予習のチェックを行うことを義務づける (授業の際、誤読の訂正の為に時間を浪費することをさけるため)。

【到達目標】漢文 (白文) に対する基礎理解 (慣れ) と、中国文化の理解を通して、人間の普遍的な理解を試み得る目を持つこと。

【授業計画】

1. 巻 131 報応三十と巻 133 報応三十二は因果応報にまつわる怪奇現象譚を 26 話と 22 話掲載する。本年度は報応三十のすべてと、報応三十二の一部を読む予定である。
2. 毎回 3 話程度を読んでいく。

【成績評価】演習形式で行うので、出席点と担当の出来具合を総合して評価する。出席は一回につき 3 点。担当の点数は 100 点から出席点 (授業回数 × 3) を引いた数字が満点となる。欠席をする場合、あらかじめ連絡を入れること。連絡があった場合の欠席と無断欠席とは評価が異なるので注意。詳細は第一回目の講義の時に連絡する。

【再試験】行わない。

【教科書】

- ◇ 特に教科書・参考書として指定するものはないが、以下の文献は講義理解の手助けとなろう。
- ◇ 竹田 晃 『搜神記』 (平凡社・東洋文庫)
- ◇ 今村与志雄 『唐宋伝奇集 (上下)』 (岩波文庫・赤)
- ◇ 陳 舜 臣 『ものがたり唐代伝奇』 (朝日文庫)
- ◇ 今村与志雄 『西陽雜俎 (1~5)』 (平凡社・東洋文庫)

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218343>

【連絡先】

⇒ 有馬 (088-656-7119, arima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 随時)